

川へ行こう！川を楽しもう！



かわたび
ほっかいどう

留萌川の歴史と治水事業



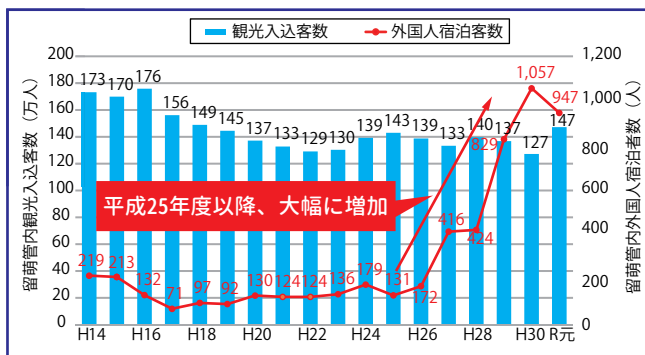
かわたび北海道の取り組み

水辺の活用に係るニーズの発掘・マッチングの促進、地域と連携した魅力的な水辺空間の創出等により、地域づくり・観光振興に貢献するプロジェクトが「かわたび北海道」です。

留萌市街地の風景

水辺を活用したイベントを実施しています。

川の自然環境、景観、水辺環境、サイクリング環境等を活用したインフラツーリズムを推進しています。



「留萌管内観光入込客数及び外国人宿泊客数について」(出展:北海道留萌振興局)

るもい川まつり



るもい川まつりの動画▶



留萌市クールチョイスエコツアー



川の自然観察会



江戸時代から振り返る 留萌の移り変わり

江戸時代

河口の場所は昔からアイヌの人たちの集落があった場所で、当時は「コタン」と呼ばれていました。特に留萌川河口付近の大きな集落は「ルルモッペ」と呼ばれており、ここには古くからアイヌの人たちが住んでいました。

当時のルルモッペはアイヌの間でも有力者が住む大きな集落であり、コタンピルの肖像画には山丹交易で得られたものが多く見られました。サハリン経由で北海道に入ってきたものを山丹交易さんたんと言い、彼はこのルートの重要な担い手であった可能性が強いと考えられています。

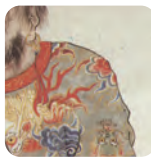


さんたん
山丹交易とは

まつまえはん
松前藩がアムール川下流に住むさんたん人から中国本土の産物を、樺太(サハリン)や宗谷のアイヌを仲介して行っていた交易のことです。

解説

にしき エゾ錦



さんたん
山丹交易で入手した中国本土産絹や清朝官服のこと。幕府にも献上されていた程華美で豪華なものでした。

たち 腰につるした太刀

立派なものであり、彼がとても裕福な家系だったことがわかります。



すね 皮のきゃはん



すね
脛の部分に巻いて、保護するもの。江戸時代から広く使用されていました。



ルルモッペの村長「西蝦夷地ルルモッペ酋長コタンピル肖像」
(出展：天理大学附属図書館蔵)

ニシン漁の歴史

◆ ニシン漁の始まり

留萌の沖合は江戸時代から蝦夷地有数の漁場として知られています。蝦夷地での本格的なニシン漁は松前地方(現在の八雲町から函館市まで)の海岸線で始まりました。

元禄年間(1688-1704)に入るとさらに北の西蝦夷地に出稼ぎをする人が増え、弘化元年(1844)には留萌にもニシン漁民が入ってくるようになりました。



◆ 留萌で最初のニシン漁場

留萌へ最初に出稼ぎに来た漁民の1人佐賀平之丞が現在の佐賀家漁場にニシン漁場を開きました。

旧佐賀家漁場 (留萌市) 紹介動画 ▶
(提供: 留萌観光連盟)



旧留萌佐賀家漁場



旧留萌佐賀家漁場 (出展: 留萌市教育委員会)
住所: 北海道留萌市礼受町13

留萌市でのニシン漁の歴史
はここから始まったんだMO!



KAZUMOちゃん
ニシンの卵「カズノコ」を
モチーフとしたキャラクター

平成9年3月11日に【国指定史跡】に指定されました。
留萌市主催の一般公開が行われています。
詳しくはHPをご覧ください。

◆ ニシン漁の移り変わり

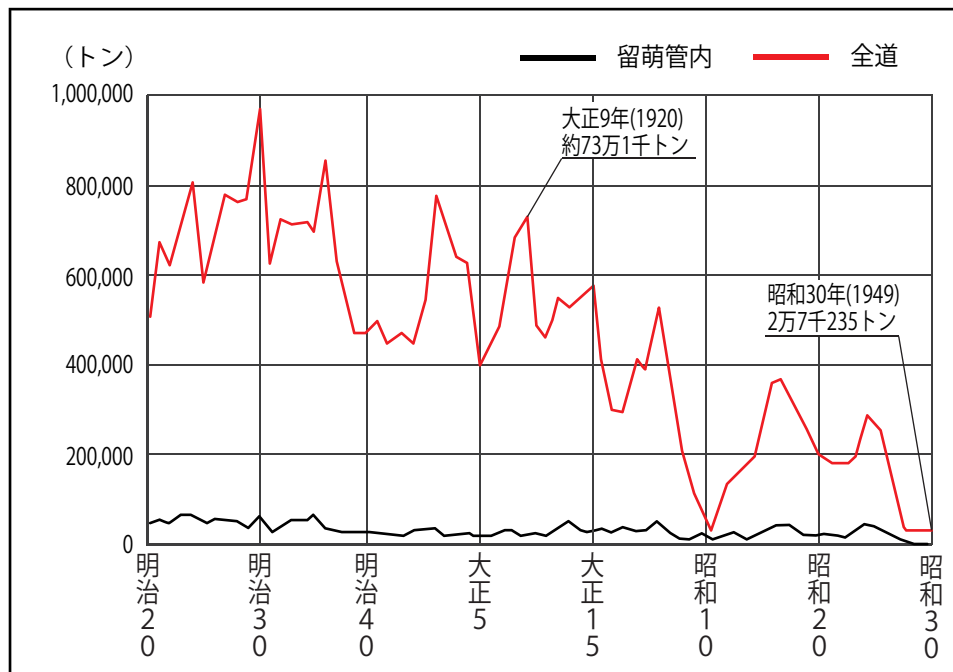
当時、松前^{まつまえ}に住所のある人しか出稼ぎが認められておらず、全ての人が等しくニシン漁^{かいたくし}することはできませんでした。

明治9年(1876)開拓使は漁場持ちを廃止し、ニシン漁場を開放して営業は自由になり、徐々に漁獲量^{ぎよかく}は増え留萌ではニシン漁は盛んになっていきました。

◆ ニシン漁の衰退^{すいたい}

明治30年(1897)まで順調に漁獲高を伸ばしてきたニシン漁にも、停滞^{ていたい}衰退の兆しが見え始めます。明治36年(1903)をピークに漁獲高が減少し始め、大正9年(1920)の約73万1千トン^{きざ}を最後に、ニシン漁獲量は年々減っていきました。

昭和30年(1949)の留萌238トン、全道2万7千235トン^{えんかん}を最後に北海道沿岸のニシン漁は終わりを迎えました。



全道のニシン漁獲量の推移(明治20年～昭和30年)
(出展：留萌市教育委員会)

交通路としての留萌川

明治時代

留萌川の河口は幅が64m、深さが満潮時には6m、千石船が2～3艘停泊できました。また、90m程の橋がかけてあり、それは舟の廃材で作られていました。



出展：北海道大学附属図書館北方資料室蔵

留萌川の開拓

当時の入植者は鬱蒼とした森林を切り開いていきました。大木を切り倒し、枝を刈って積んで焼く。幹は薪にし、冬の間川に印をつけ積んでおき、春先の増水時に留萌まで薪を流送しました。

また、留萌沿岸はニシン漁が盛んな時代であり、ニシンの粕を炊く薪としての需要が大きく、開墾途中の開拓民にとっては貴重な現金収入になりました。

23線藤山の神社の下に船着き場がありここから留萌に下り、下りは1日、上りは3日を要しました。(薪1敷が流送しないで約50銭、流送して約1円)

留萌川では薪の流送の他、明治39年頃まで石炭も船で運搬されていました。

交通路のルート

物資を求めに行くのにも、収穫物を出荷するのも留萌との行き来は主に船でした。

また、日本海側と石狩地方の内陸部を結ぶ古くからの道は、主に初春^{かたゆき}堅雪の頃に使用されていました。

◆ チバベリ川からイタイルベシベ（峠）を越えて恵岱別川に出るルート



出展：東西蝦夷山川地理取調図 松浦武四郎記念館蔵



◆ 留萌川の由来

留萌はアイヌ語で「ルルモツペ」と言い、「川の流
れが緩やかで、満潮になる
と緩やかに海水が川をさか
のぼっていく所」という意
味をもっていました。

留萌川の主な洪水と治水事業の経緯

昭和35年度をスタートとする留萌川総体計画を受けて改修工事が続けられる昭和46年度までを前半期とするならば、1級河川に昇格し国の直轄河川として飛躍的に工事規模・内容が拡充される昭和47年度以降の時期が後半期といえます。

主な洪水と治水計画

- S22.8 前線を伴う低気圧**
流域平均雨量 (大和田) 115mm/2日
- S26.9 前線・低気圧**
流域平均雨量 (大和田) 181mm/2日
- S28.7 前線**
流域平均雨量 (大和田) 203mm/2日
- S30.7 低気圧**
流域平均雨量 (大和田) 136mm/2日
- S30.8 前線**
流域平均雨量 (大和田) 164mm/2日
- S35 留萌川改修総体計画**
計画高水流量 (大和田) 660m³/s
- S47 一級水系指定**
- S49 留萌川水系工事実施基本計画策定**
基本高水流量 (大和田) 1,000m³/s
計画高水流量 (大和田) 800m³/s
- S50.8 台風6号**
流域平均雨量 (大和田) 149mm/2日
- S56.8 前線**
流域平均雨量 (大和田) 213mm/2日
- S63.8 前線**
流域平均雨量 (大和田) 325mm/2日
- H5.4 留萌川水系工事実施基本計画改定**
基本高水流量 (大和田) 1,300m³/s
計画高水流量 (大和田) 800m³/s
- H11.12 留萌川水系河川整備基本方針策定**
基本高水流量 (大和田) 1,300m³/s
計画高水流量 (大和田) 800m³/s
- H13.10 留萌川水系河川整備計画策定**
基本高水流量 (大和田) 1,300m³/s
計画高水流量 (大和田) 800m³/s
- H30.7 前線**
流域平均雨量 (大和田) 168mm/2日



昭和30年8月洪水 大和田市街地



昭和50年8月洪水 大和田市街地



昭和56年8月洪水 留萌市街地



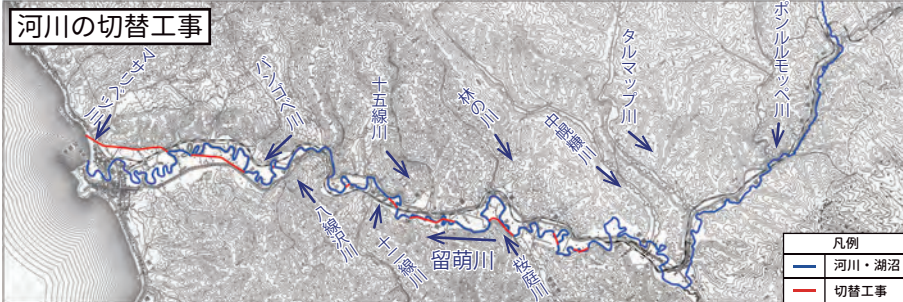
昭和63年8月洪水 留萌市街地中心部



留萌川の変遷とまちの発展

昭和30年洪水を契機に下流市街地の築堤や河川の切替工事が進められました。

◆ 昭和40年代以前



下流部や中流部で河川の切替工事を行いました。



海岸沿いに市街地が広がり、留萌川沿いでは畑作が中心でした。

◆ 昭和40年代以降



上流部で河川の切替工事を行いました。



留萌川沿いでは畑作から水害に強い水田の占める割合が多くなりました。

留萌川の主な洪水対策

大和田遊水地

ゆうすいち

越流堤

堤防の一部を低くし、遊水地へ水を流し込む構造になっています。表面がコンクリート等で覆われており、とても頑丈な造りとなっています。

周囲堤

遊水地と民家のある土地を隔てる堤防のこと。

洪水時に水が流れ込みます。

貯めた水は排水樋門から出します。

塩州橋

留萌川
JR留萌本線
国道223号

田んぼ堤

遊水地と川を隔てる堤防のこと。

排水樋門

遊水地に溜めた水を留萌川の水位が下がった時に、徐々に留萌川に流します。

洪水時



イメージ

大和田遊水地の目的

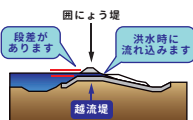
大和田遊水地は、3つの目的で建設されました。

- ① 下流市街地の洪水被害軽減
- ② 大和田地区の冠水頻度の軽減
- ③ 上流地区の改修促進

大和田遊水地のしくみ

大雨時、河川の増水による洪水を防ぐため、大和田遊水地に上流から流れてきた水を一時的に大和田遊水地に溜めることで下流市街地に流れる水を少なくしています。

越流堤



排水樋門



過去に多くの水害に見舞われてきた留萌市。
洪水時の流量を減少させる対策として、
留萌ダムが建設されました。

楽しいイベントがたくさん

市民団体「るもいエコ村」主催のイベント

るもいエコ村とは留萌ダム周辺の環境保全や楽しく交流するイベントを市民が主体となって取り組んでいる団体です。（日本ダム協会の「ダム建設功績者表彰」を受賞しました。）



インフラツーリズム

なかなか入る機会のないダム等の公共施設を近くで体感することで、理解を深めて頂くことを目的に様々なツアーを実施しています。



※北海道留萌振興局が取り組む「ダムを活用した特産品開発」に協力し、温度変化の小さいダム内部で平成31年より日本酒を貯蔵しています。

留萌ダムの目的

留萌ダムは、3つの目的で建設されました。

- ①ダム下流域の洪水被害を軽減
- ②ダムの水を放流し水環境を改善
- ③留萌市の水道用水の供給

留萌ダムのしくみ

大雨時、河川の増水による洪水を防ぐため、留萌ダムの上流に降った水をダムに貯水し溜めることで、下流に流れる水を少なくしています。

留萌ダムの空撮動画▶



留萌川流域治水プロジェクト

～北海道北西部の物流、地域経済の拠点「留萌」～

令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生し、田等の貯留機能有効活用に向けた調整等や避難等の対策を含む事前防災対策を進めるの昭和56年8月洪水と同規模の洪水を安全に流し、それを上回る戦後最大の昭和63の軽減を図る。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・ 導流堤改築、河道掘削等
- ・ 砂防関係施設の整備
- ・ 農業用排水施設及び農用地整備等
- ・ 水田等の貯留機能有効活用に向けた調整等
- ・ 留萌ダムにおける事前放流等の実施、体制構築等
- ・ 農地防災ダムの機能保全
- ・ 森林整備等
- ・ 治山対策

■ 被害範囲を減少させるための対策

- ・ ハザード情報を活用した土地利用等の調整・検討
- ・ まちづくりでの活用を視野にした多段的な浸水リスク情報の検討

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のため

- ・ 関係機関で連携した避難場所等整備検討
- ・ 関係機関による流域タイムラインの作成
- ・ 防災教育等の実施
- ・ 水防意識啓発のための広報の充実
- ・ ハザードマップ等の作成更新と利用促進（水災害リスク情報空白地の解消に向けた）
- ・ 土地等の購入にあたっての水災害リスク
- ・ 支援および受援活用の強化
- ・ マイ・タイムラインの作成
- ・ 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成
- ・ 自主防災組織の充実、強化
- ・ 防災情報伝達手段の整備検討、充実
- ・ 排水作業準備計画の作成



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

「留萌市」を洪水被害から守る治水対策の推進～

たことを踏まえ、留萌川水系においても急激な水位上昇による被害軽減のための水
 が必要あり、国管理区間においては、留萌川流域で甚大な被害が発生した戦後第2位
 年8月洪水と同規模の洪水を下流市街部では安全に流下させ、流域における浸水被害

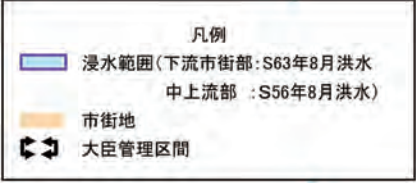
め
 の対策
 取組み
 情報の提供
 促進等



市街地等を土石流から守る砂防関係施設の設置
 (留萌振興局)



るもいし
 留萌市
 水田等の貯留機能有効活用に向けた調整等
 ハザード情報を活用した土地利用等の調整・検討
 マイ・タイムラインの作成など



留萌川流域治水協議会 ▶



留萌川の河川整備による効果

留萌川の整備を進めることで地域経済の発展に結びつきます。

留萌川治水事業の推進により
★黄色いダイヤを洪水から守る！

かずのこのマチ留萌

- ◆ 留萌市のかずのこは生産量日本一(全国シェア30%以上)
- ◆ 昭和63年出水では水産加工場含む街の1/3が浸水
- ◆ 安定した生産・流通には、治水事業の推進が重要

過去の留萌川の洪水被害(昭和63年)



留萌市街地の浸水状況





留萌管内は塩カズノコの生産量が日本一で、国内シェアの30%を占めています。

ニシンが獲れなくなってから、伝統あるニシン加工の技術を活かし、カナダ・アメリカ・ロシアなど外国の冷凍ニシン・原卵^{げんらん}を他の地方に先駆けて輸入し、地元の水産加工会社の努力によって、現在では全国**1位**の生産量と品質を評価されるようになりました。

留萌川を整備することで
洪水が減って「かずのこ」
を守ることができるんだMO～！



KAZUMOちゃん

治水事業の推進 治水事業の推進により浸水被害解消！



留萌ダム(平成21年度完成)



大和田遊水地(平成21年度完成)



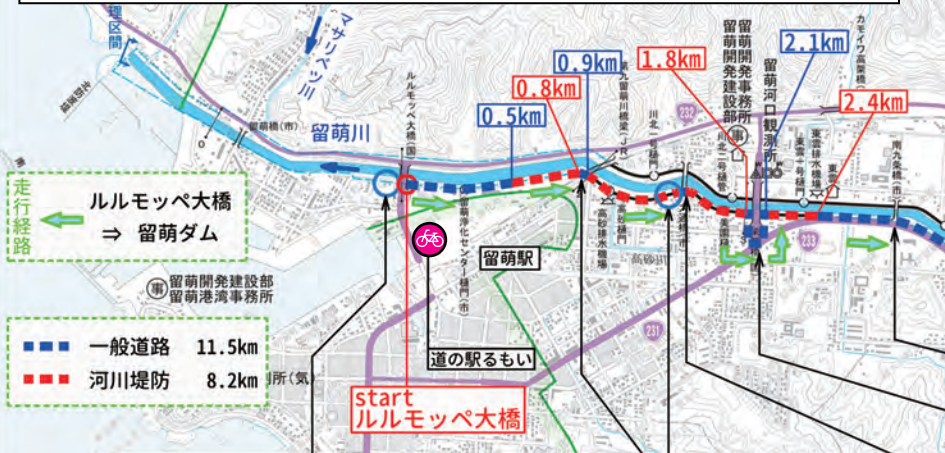
河口導流堤と河道掘削

留萌川のサイクリングマップ

留萌川のサイクリングマップ(留萌市街地～留萌ダム) 1/2



距離 = 19.7km 最低標高 = 4.3m 最大標高 = 53.0m 標高差 = 48.7m
 平均斜度 = 0.2% 最大斜度 = 4.1% 標準所要時間 = 1時間19分 (平均時速15km/h)



留萌川の新たな魅力発見

水辺のサイクリングは
 美しい景観がポイントだMO!
 水面に吹く爽やかな風を
 感じながら快適なサイクリング
 を楽しんでだMO!

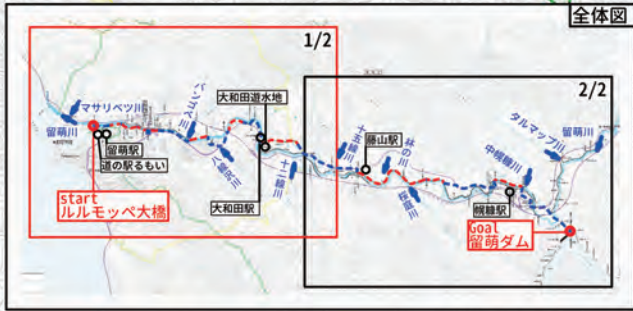
旨い! 留萌北海道
 (留萌市プロモーション映像)
 (提供: 留萌観光協会)



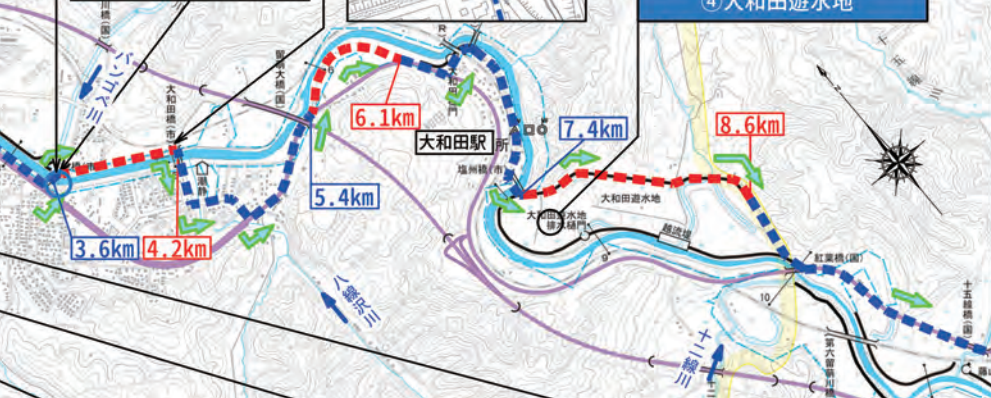
留萌市の自然環境や景観等の河川空間を楽しむことができます。



③東橋上流



④大和田遊水地



🚲 自転車の貸し出しを行っています。
道の駅るもい「るしんふれ愛パーク(船場公園)管理棟
留萌市船場町2丁目114 TEL:0164-43-1501

留萌川の空撮動画▶



留萌川のサイクリングマップ(留萌市街地～留萌ダム) 2/2

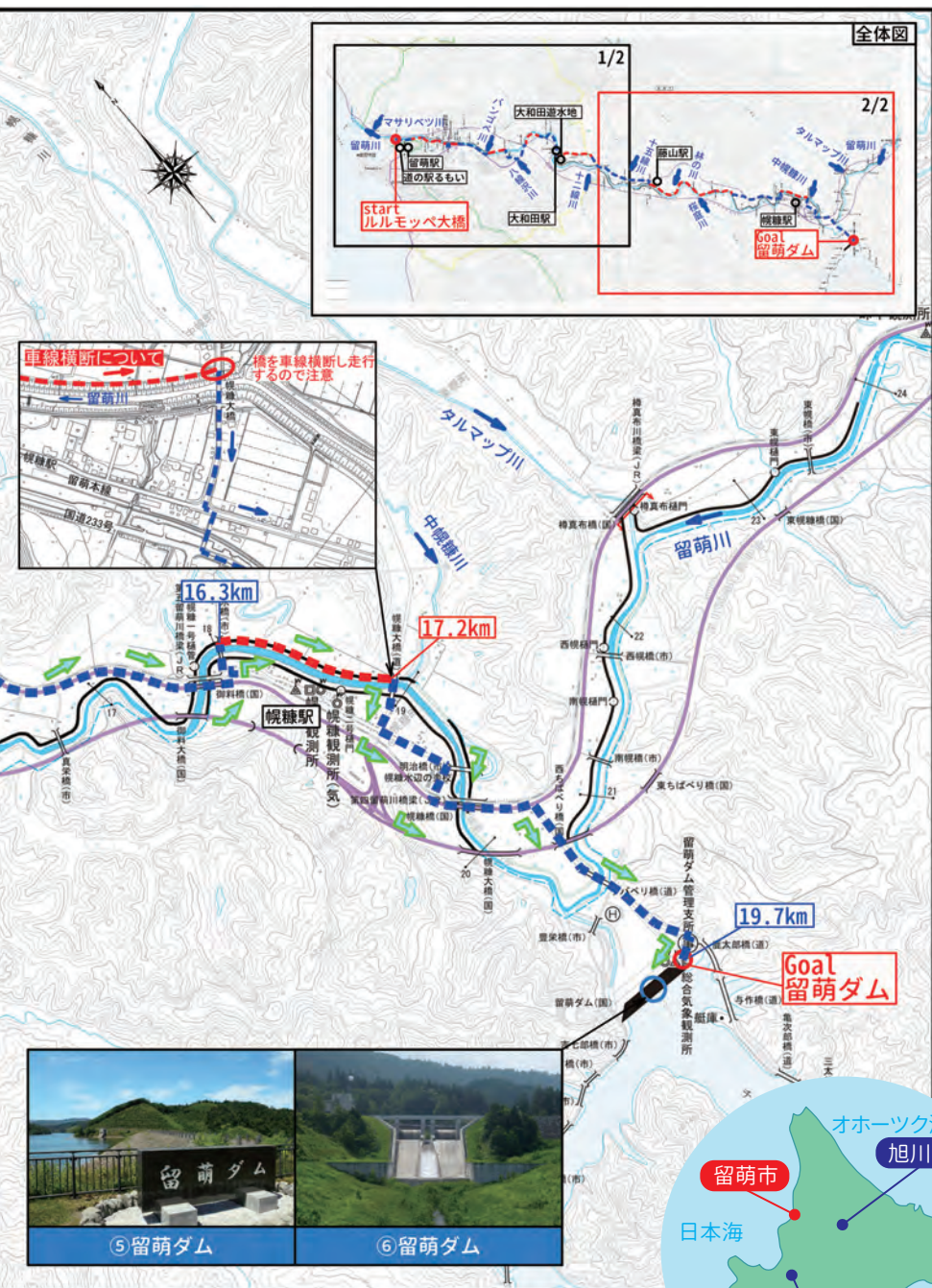


留萌川流域の概要

流域面積 : 270 km² 流域内人口 : 20,295 人 (令和 2 年)
 幹川流路延長 : 44km 関係市町村 : 留萌市

留萌地域PR動画 ▶
 (提供: 留萌観光連盟)





◆ 交通アクセス
 《旭川市 →← 留萌市》《札幌市 →← 留萌市》
 所要時間 (JR) 約140分 所要時間 (JR) 約140分
 距離 約80km 距離 約157km

留萌川の歴史と治水事業

〈製作〉 国土交通省北海道開発局 留萌開発建設部 治水課

〈監修〉 留萌市教育委員会 生涯学習課

川へ行こう！ 川を楽しもう！



かわたび
ほっかいどう

<https://kawatabi-hokkaido.com/>

